



**第四章
資料**



アンケート用紙

平成31年3月10日

第29回東京都平和の日記念行事アンケート

本日の東京都平和の日記念行事について、アンケートにご協力ください。

■ 3月10日が東京都平和の日であることについて

- a. 知っていた b. 知らなかった

■ 記念行事への参加回数について

- a. 初めて b. 2～10回 c. 11～20回 d. 21回以上

■ 本日の記念行事について

1 第一部「記念式典」についてご感想をお聞かせください。

- a. 大変良かった b. 良かった c. 普通 d. 悪い

(ご意見: _____)

2 第二部「記念公演」についてご感想をお聞かせください。

- a. 大変良かった b. 良かった c. 普通 d. 悪い

(ご意見: _____)

3 今後の「東京都平和の日記念行事」についてお聞かせください。

a. 「記念式典」のみでよい(その理由: _____)

b. 「記念式典」と「記念公演」を行う(その理由: _____)

c. その他(_____)

4 この行事を何でお知りになりましたか。

a. 広報東京都 b. 東京都のホームページ c. 知人から聞いて

d. その他(_____)

■ その他ご意見ご感想をお聞かせください。

[_____]

お歳: _____ 代

お住まい: _____ 区・市・町・村

ご協力ありがとうございました。

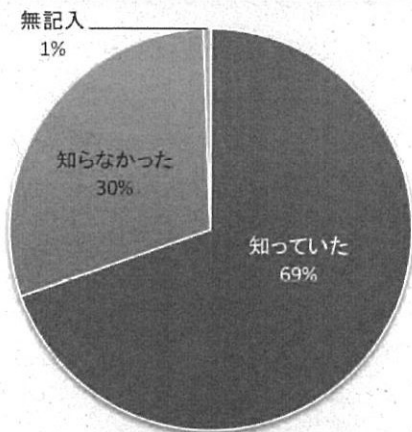
東京都

アンケート集計結果

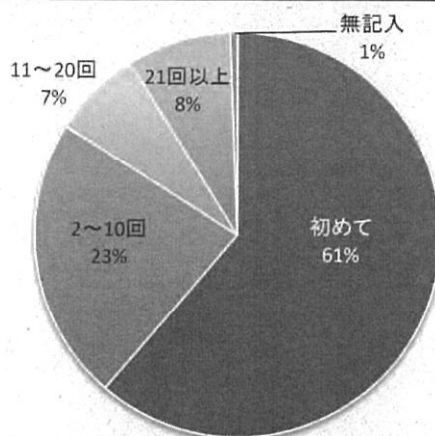


回答数：168

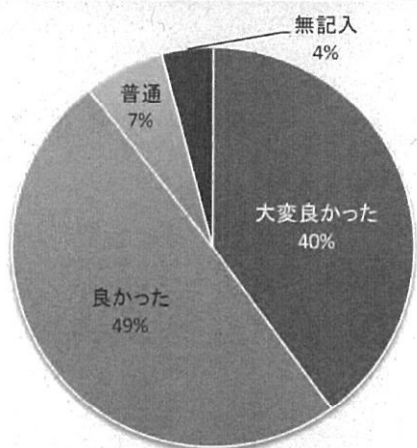
3月10日が東京都平和の日である事について



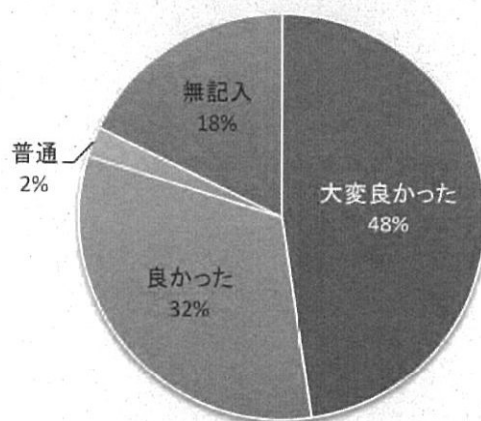
記念行事への参加回数について



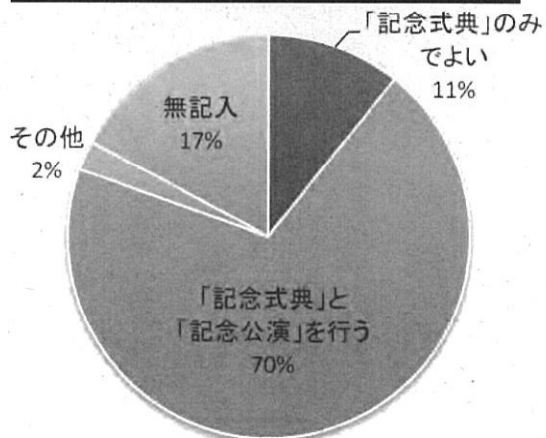
第一部「記念式典」について



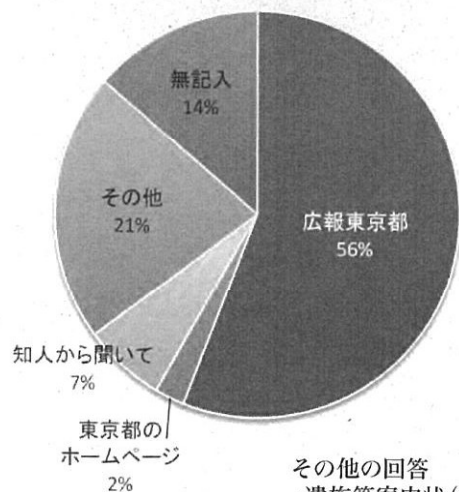
第二部「記念公演」について



今後の「東京都平和の日記念行事」について



この行事を何で知りましたか



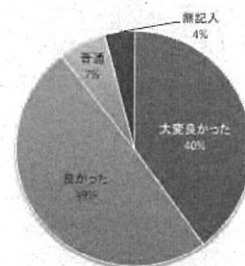
その他の回答
 ・遺族等案内状(22件)
 ・家族・友人より(4件)
 ・その他・記載なし(10件)

アンケート集計結果（自由意見）

自由意見

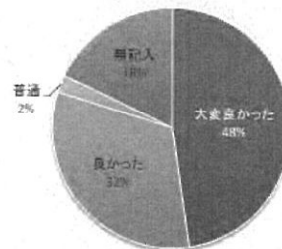
1. 第一部「記念式典」についてご感想をお聞かせください

- 来賓お2人の挨拶に感銘を受けました。
- 来賓お二人の話が良かったです。
- エリトリア、武蔵野のお話を聞いたが、体験談が一番参考になる。
- 閣下と遺族代表の方のお話が良かった。改めて平和について考えました。もう1名お聞きしたいです。
- 実際に空襲体験をした方の話が聞いて自分がその立場にいたらどうだっただろうと考えさせられた。
- 気持ちを新たに平和を今一度考えなおしました。実談は実感として伝わってきます。
- 被災者代表のお話が大変貴重でした。
- 特に被災者代表の方のお話が心に残りました。
- 空襲経験者の話を聞いてとても良かったです。(複数回答有)
- 被災者の方のお話を伺い、涙が止まりませんでした。
- 被災者代表の方のご挨拶は今なお目に浮かぶ悲惨な光景と共に歩んでこられたことに敬服いたします。
- 中里さまのご挨拶が心にしみました。改めて平和の尊さを思い知らされました。
- エリトリア大使のお話し感動しました。
- エリトリア大使の自国でも平和の日を作りたいというお話が大変印象深かったです。
- エリトリア大使のご挨拶が1番良かったです。他の方々はありきたりで伝わるのがなかった(追悼の気持ち)。
- 体験者の方のお話を伺える良い機会であると思います。
- 知事の挨拶が良かった。
- 黙とう、国歌斉唱と10万人の犠牲者に哀悼の意を表すことができ良かった。
- 戦争の悲惨さを知ることができて良かったです。
- 体験談を2~3名にして欲しい。TVなどで「今日は東京大空襲の日」として呼びかけたらどうか？
- 真の平和を求め超大国の大使の話が聞けると良い。
- 戦争はまだまだ終わっていない。次世代に伝えていかなければならないと思う。
- 来賓挨拶の通訳のタイミングが悪かった。
- 通訳があることを始めに言って欲しかったです。
- 遅れてしまい参加できず残念でした。
- The words of the survivor was so real that I could imagine.



2. 第二部「記念公演」についてご感想をお聞かせください

- 戦死なされた人々の大変素晴らしい供養になったと思います。
- 平和だから素敵なコンサートが開けたのだとしみじみ思いました。
- 良質な音楽を楽しませていただいた。こうして音楽を楽しめるのも平和だからこそと改めて感じた。
- 生の演奏がとても良かったです。
- 久々に生で聞くことができました。ありがとうございます。
- とても美しい音色で酔いしれました。
- 迫力ある演奏で心が洗われるようで感動しました。
- 心が洗われて元気になりました。ありがとうございます。
- 癒されました。



アンケート集計結果（自由意見）



- 楽団、子供さんも含めて、good! 曲中、空襲で亡くなった方々に聴かせてやりたいとつくづく思いました。日本を戦争に導いた連中は決して許されるものではありません。都交響楽団のファンになりました。
- 厳かな曲、優しい曲、懐かしい曲の構成で良かったです。
- 大好きな曲目ばかりでした。
- よく聞く曲目で良かったと思います。
- バッハの aria はお亡くなりになった方への慰めとなって曲が届いているといいですね。
- やはり、バッハ「aria」は、心を落ち着かせることができますね。
- グリーグは特に心に響きました。
- 司会も上手だったし、子供たちとの共演や大河テーマは良い。
- 子供たちの参加は良かった。
- 少年少女の2人が素晴らしかったです。
- 倉本絵里さん美しい歌声でした。
- 元気で帰れます。歌はいいですね。
- また来年も楽しみです。
- 都響が大変良かった。(複数回答有)
- もう少し長くても良いかなと思うのですが。
- 1時間位、あと二曲くらいあると良いように思う。
- 時間が長い。子供の数をあと2人増やしたほうが良い。
- 30分ぐらいで良いと思う。「過ぎし春」と「西郷どん」はいらぬと思う。大河ドラマは見えていないので知らないし、45分やらないで30分にして欲しい。
- もっと柔らかい出し物をお願いします。
- キーが高くて歌えない。
- 毎年同じ歌はやめてほしい。
- 西洋のものも良いが日本の楽器で公演もして欲しく思った。
- 演奏家の衣装の色やデザインが式典のイメージに合わない。黒・紺色・グレー・青等が良い。お祭りではないのです。
- Full of emotion
- Excellent choice of music and outstanding participants of children.

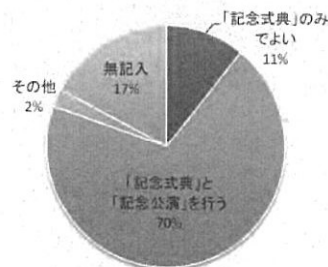
3. 今後の「東京都平和の日記念行事」についてお聞かせください

a 「記念式典」のみでよい

- 長い時間多くの人に献花の時間を。
- 公演の内容がマンネリ化している。
- 戦争体験者の話をもっと聞きたい。協力者が高齢になり難しいだろうが。もしくは、映像をみるとか、戦争の様子がわかるものを!

b 「記念式典」と「記念公演」を行う

- 犠牲となって亡くなられた方々の追悼になると思われる。
- 両方で亡くなった方に思いをはせ、平和の重さを感じたい。
- 忘れないための取組は継続すべきと思うから。
- 両方素晴らしいから…
- 両方行われることにより全体的に式が安定していた。





アンケート集計結果（自由意見）

- 音楽を楽しめるというのは平和であることに通じる。いつも楽しませていただいています。
- 式典では体験談を聞いて良かったです。公演では戦死された方々の供養となり、私も良い演奏に心の栄養となりました。
- 心が癒されるので記念公演があると良いです。
- 初めて参加させていただきましたが、式典の後のえんそうで心が癒されました。子供の参加も微笑ましかったです。
- 良いのではないのでしょうか。
- 演奏があると心が穏やかになります。
- 音楽は癒し効果がある。
- 音楽は心が和みます。
- 気が休まる。
- 心が豊かになった感じ
- 心が静かに楽しい時を過ごせて生きていてよかったと思った。
- より平和を感じて祈ります。
- 公演・歌は希望が見えるような気がする。
- 気分が変わって明るい気持ちで帰れます。
- 気持ちが晴れやかに帰宅できます！
- 心に残る記念となるから。式典のみでは味気がない。(複数回答有)
- 記念式典だとあつという間に終わってしまうから。
- 式典のみだと足をせっかく運ぶのにあっけない気がする。
- 式典だけでは来ない。
- 楽しみも欲しいので。
- 付録をつけることにより、よりよい式典になる。
- 挨拶のみの固い感じにならないため。
- 式典だけでは形式的に終わるから空襲の悲惨さを経験談話式とかでも良いのでは？
- 年1回の式典だけではちょっと物足りないと思う。
- 都民としての役割。
- 参加させていただき大変良かったと思う。(複数回答有)
- both of them help us to remember war will be ended now and in future.
- They go together
- They complement each other.
- Better start and end with concert. In between the commemorative ceremony. So many ambassadors will stay till the end. Would be good that governor stays till the end.

c その他

- どちらでも良い。

アンケート集計結果（自由意見）



■その他意見、感想

【具体的なご意見】

- 平和な現在に心より感謝いたします。
- 東京空襲の恐ろしさ、戦争の悲惨さを皆さんで思い返して生かしていかなければと思いました。
- 平和の日記念式典が行われることにより記憶をつなげられ、絶対忘れてはならない大事な行事と思う。
- 戦後74年？次の世代に、その次と伝え、絶対に風化してはならないことだと思う。
- エリトリア国大使、中里住職のお話は戦争の悲惨さを思い起させるお話でした。その戦争の醜さ悲惨さを次世代に語り継ぐことの大切さを痛感しました。ご準備、大変かと思いますが、今後もよろしく願いいたします。
- 今年の「和」についてのお話も良かったし、今年の「代理戦争」とか「超大国」のお話もハッとさせられました。
- 戦争を知らない人たちに平和の大切さを何よりすばらしいことであるということを知ってほしいと思います。どうしたらいいのか？
- 列席の人たちの高齢化が気になる。世界の平和や戦争の歴史は若い人にもしっかり伝えて考えてもらう機会がもっとあれば良いと思う。エリトリア大使の話でアフリカの戦争の歴史を少し伺い知ることができた。戦争が痛ましいことは頭では理解していたが、世界中で未だに不幸なことが続いている事実もしっかり受け止めるべきだと思った。
- 戦争を知りません。でも今の平和をありがたく思います。いつまでも続くことを望んでいます。
- 戦争を知らない世代へどのように伝え引き継いでいくべきか、都として国として検討すべきと思います。
- 9ヶ月にも渡る空襲認識を新たにしました。
- 昔を思い出し年に1度は大変苦しくなりますが今後平和でありますよう願っております。
- 無差別攻撃には本当に憤りを覚えています。今年は参加できて今後の平和活動に活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。
- 3/10東京大空襲が有り、母の姉は墨田川に浮かんでいたそう（人々が重なって沈んでいたそうだが）母の両親は必死に探し、男たちに日光街道を運ばせ、実家まで届けた。あまりにも無残で母は父親から見ると見ることができなかつたそう。戦争はおろか！平成は日本では戦争はなかったが、世界では…日本もあやうい！絶対平和を願う！世界が平和であるように！
- 仙台出身で蔵前で亡くなった祖父（私が産まれる前なので会ったことはありません）の遺骨を探し求め、やっと東京慰霊堂に辿り着き、今日初めて名簿を納めることができホッとしております。今日89名の名が収められたそうですが、戦後74年も経っているのにまだまだ戦争は終わっていないと感じました。式典に招待いただきありがとうございました。3年前に亡くなった母もやっと供養できて喜んでくれていると思います。
- 小学二年のころは戦火を逃れ山に疎開した年代です。改めて戦争の恐ろしさを痛感、展示場で涙しました。素晴らしい催しでした。孫達にも伝えていこうと思います。
- この平和が永く続きますようお祈りします。音楽のちからは阪神大震災の時、クラシックなど人の心を馴染ませてくれると強く感じました。今回も素敵な演奏をありがとうございました。
- 1人の生活になり、朝刊などゆっくり読むようになり、今回思いがけず記事が目に入りました。両親・兄たちを亡くしており、私だけ残り、ずっとずっと戦災で全てなくしたことを覚えています。今回で最初で最後になるかもしれない今回の記念行事への参加ができたことを心から嬉しく、感謝しております。そして、亡くなった両親兄たちの供養になれたと奇跡のくじ運を心から嬉しく思っております。ありがとうございました。
- 3/10に家族がばらばらになったことを展示を見て改めて思い出されます。当時はヘルパーさんなどいなく、自分で何とかして生き延びていました。今日はありがとうございました。
- 戦争を知らない私は初めてこの行事に参加させていただきました。大変身が引き締まるお言葉をいただき、また、次回参加させていただきたいと思いました。
- 私たちは年です。こういうのがないと、なかなか新宿まで来ることがないので良かったです。



アンケート集計結果（自由意見）

- 今日は夫90代が歩けず一人で来ました。今日は夫の分も一緒に祈りました。ありがとうございました。
- 都庁に来る機会があまりないので、年一度の式典、都知事をお目にできる機会ができ、続けて欲しい。
- 平成最後の平和の日式典に出席出来て良かったです。久しぶりの式典出席、改めて良かったと思っています。
- 5年ぶりの参加でした。素敵な一日、出席できいろいろとありがとうございました。
- 大変良かったです。平和が大切です。(複数回答有)
- 今まで数回申込してありますが、抽選に外れ今回初めての参加ですが、大変良かった。
- 初参加だったので貴重な体験でした。平和について改めて考える良い機会となりました。
- 初めて参加して良かった。
- いつまでも続けてください。
- また、是非この素晴らしい行事を続けてください。
- 続けて欲しい。戦争未経験者に伝える意義があると思う。
- いつまで参加できるのかわかりませんが、このような催しは続けてくださいませ。
- 来年も参列したいと存じます。
- 大変良かったと思います。またの機会を楽しみにしています(本当によかったです)
- この日をもっとアピールしてください!
- 東京都として行うこの式典に欠席はできません。心から冥福を祈り都として供養の心あることを改めて知ります。みんなで歌っていた歌を始めは大きな声で泣いて歌っていたのに今日はあまりに静かで少々驚きに近い気持ちです。
- 空襲から何年目のほうが実感がわくと思われます。国家はほとんど歌わない年齢・生活をしているのでいろんな場所で歌ったらどうでしょうか?
- 広く多くの方が入っていただけるような場所で誰もが献花できるようにしてほしい。
- The emphasis on peace throughout the world is critical.
- We rely on Japan to bring back all over the world.
- We rely on Japan to bring back peace all over the world. Because Japan is a country of peace and love.
- History be told as it was for the memory of future generations.This was a sad situation that should never be repeated, whatever the reasons.
- Japan is great country and with my sympathy and best wishes. ありがとうございます。

【受付について】

- 受付について係がもう少し場所とかを個々で把握してください。これは1階、これは2階で各人で異なり、振り回された。(案内した係がわからないということはおかしい)(複数回答有)
- 受付をもう少しスムーズにお願いします。

【会場について】

- 暖房が強すぎて気分が悪くなりそうでした。
- 会場の空調が暑すぎました。(複数回答有)

【その他】

- 各国大使を紹介されたら良いと思います。
- 開場から開始までが長い。
- 入場前に写真展を拝見…恐ろしいですね。
- Nobody told us that there was a photography exhibition that I would have loved to visit.

東京都平和の日条例

平成二年七月二十日
東京都条例第九十号

東京は、今や、世界の経済社会の発展を支える大都市としての地位を占めるに至った。これは、東京の地に住み、働いてきた人々の努力の賜物である。

しかし、東京の歴史には、幾多の惨禍が刻まれている。特に、多数の都民が犠牲となった第二次世界大戦の悲惨を我々は忘れることができない。

平和は、都民すべての願いである。

東京都は、平和国家日本の首都として、世界の都市と連携し、文化交流等の推進に努め、人々の相互理解に立脚した国際秩序の形成と恒久平和の実現に貢献する責務を深く認識し、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、ここに、東京都平和の日を定める。

(平和の日)

第一条 東京都平和の日は、三月十日とする。

(記念行事)

第二条 東京都は、東京都平和の日に、平和の意義を確認し、平和意識の高揚を図るため、記念行事を実施する。

(委任)

第三条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

Tokyo Metropolitan Peace Day Ordinance

Tokyo has now become one of the major cities to support the development of the world economy and society. This result can be attributed to its residents, who have lived and worked diligently in Tokyo. However, Tokyo recorded many disasters in its history. Of these, we will never be able to forget tragedies experienced during World War II when many Tokyo residents fell victim.

Peace is the very wish of all of Tokyo's residents.

The Metropolis of Tokyo, as the capital of peaceful nation of Japan, has decided to promote cultural exchanges in cooperation with the cities of the world. Tokyo recognizes responsibility for devoting itself to forming an international order based on mutual understanding and achieving eternal peace. Tokyo takes an oath never to repeat the horrors of war. Therefore, the Metropolis of Tokyo does hereby enact the Tokyo Metropolitan Peace Day.

(The Peace Day)

Article 1 The Tokyo Metropolitan Peace Day shall be on March 10th.

(Commemorative events)

Article 2 In order to confirm the significance of peace and to promote peace-consciousness, the Metropolis of Tokyo will carry out commemorative events on the Tokyo Metropolitan Peace Day.

(Delegation)

Article 3 Necessary matters related to the enforcement of this ordinance shall be fixed by regulation.

Supplementary provision

This ordinance shall come into force from the day of its promulgation.

Promulgated July 20, 1990

Tokyo Metropolitan Ordinance No.90

東京都民平和アピール

一九四五年三月十日、五十年前の今日、東京は大空襲によって、いたるところ焼け野原と化し、一夜にして十万人のかけがえのない尊い命が失われた。

同じく五十年前、広島と長崎の原子爆弾は、人類がまだかつて知らなかった悲劇を地上に現出させました。

いかなる哀悼の言葉も意味を失ってしまうほど非情かつ残酷なもの、それが戦争のもたらすあらゆる惨禍であり災害であります。

そして半世紀がたちました。戦争を知らない人々が、都民の多数を占める時代がきました。東京の姿は一変しました。廃墟だったまちは、活動力にみちた大都市に変貌しました。それは、日本が平和のもとにあつたからこそ実現できたものでした。

世界の相互依存関係がかつてないほど緊密になり、互いの協力がますます必要とされる現在、私たちは世界全体の平和なくして、幸せで安全な暮らしを営むことはできません。

いま世界は、激動の中にあつて、大きな歴史の転換の時代を迎えています。民族や宗教の対立などに起因する悲惨な地域紛争、飢餓と貧困、難民と被災者、地球環境の破壊と悪化をはじめ、人々の穏やかで満ち足りた生活をはばむ要因が、次から次に生じています。不信と対立を克服し、信頼と協調による新たな国際秩序を模索することは、地球全体にとつて緊急な課題であり続けています。国、民族、文化の違いをこえた取り組みが、今ほど求められていた時はありません。

平和は、何ものにもまさつてすべての基礎をなす条件です。日本国憲法が基本理念とする恒久の平和は、私たちすべての願いであり、人類共通の目標です。

私たちは、軍縮と核兵器の廃絶を機会あるごとに強く訴え、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓います。日々の生活において、平和を脅かす問題に、毅然として立ち向かい、忍耐よく取り組むことを決意します。

一 私たちは、次代を担う子どもたちに、戦争の悲惨さと、それを防止することの大切さを、東京大空襲の体験などとともに語り伝えます。

一 私たちは、共に地上に生きるすべての人の人権を尊重し、差別を排し、思いやりと愛情をもって、誇るに足る地域社会をつくります。

一 私たちは、日々のくらしを注意深く見つめ、豊かな水と緑の地球環境を守ります。

一 私たちは、地球社会の一員として、世界の人々と交流し、相互の信頼を深め、協力連帯して、人類の福祉の向上に努めます。

一 私たちは、過去の歴史をかえりみて、ともに手を携えて平和な世界をつくり、相ついでやつて来る新しい世代に引き継いでゆきます。

第五回東京都平和の日記念式典にあたり、私たちは、参加者の総意としてこのアピールを採択し、誓いも新たに、平和を心から願う気持ちと決意を、全世界の人々に訴えます。

一九九五年三月十日 東京都

An Appeal for Peace by the Citizens of Tokyo

Fifty years ago today, on March 10th 1945 Tokyo was reduced to ashes and a hundred thousand precious lives were lost overnight due to a large-scale air raid.

The same year, the dropping of atomic bombs in Hiroshima and Nagasaki revealed a tragedy never previously known to human beings.

The nature of various horrors and disasters brought forth by war is so cruel that no words of condolence are enough.

Half a century has passed since then. Most of today's citizens of Tokyo don't know the war. The city of Tokyo underwent a tremendous change. Once in ruins, Tokyo is now a metropolis full of energy and spirits. This became possible only because Japan has been at peace for the past fifty years.

Today, when global interdependence is stronger than ever and cooperation increasingly necessary, we cannot seek a safe and happy life without world peace.

In the midst of turbulence, the world today is approaching an era of great change in history. Conflicts caused by antagonisms between different ethnic groups and religions, hunger and poverty, refugees and victims, deterioration and destruction of the environment—these are only a few of many factors in today's world which endanger people's calm and fulfilling lives. To overcome distrust and antagonism and to seek a new international order is an urgent agenda of the entire world. Never before was it necessary to deal with this agenda regardless of differences in nationality, ethnic background, and culture.

Peace is a basic requirement, more important than anything else. Lasting peace, the fundamental principle of the Constitution of Japan, is the wish of everyone of us and is also a common goal for all human beings.

We pledge to take every opportunity to advocate disarmament and the abolishment of nuclear weapons, and to never repeat the horrors of war. We are resolved to deal with problems which endanger peace in everyday life and to face them resolutely and patiently.

- We will tell our children, who are responsible for the next generation of the horrors of war and the importance of preventing it, along with the memories of the large-scale air raid of Tokyo.

- We will respect the human rights of all people living on the earth, fight against discrimination, and create, with much love and compassion, a community which we can be proud of.

- We will review our daily lives in order to preserve the world environment with rich water resources and greenery.

- We, as members of the global community, will develop amicable relationships with other people of the world, strengthen the mutual trust, and, with cooperation and solidarity, make efforts to enhance the well beings of mankind.

- We will reflect upon our past history and create a peaceful world for the next generation to cherish.

On the occasion of the 5th Peace Day Commemoration of Tokyo, we adopt this appeal by the consensus of all present, thereby conveying to the world the renewal of our sincere resolution to achieve peace.

March 10th, 1995